

環境調査結果のお知らせ

平成26年5月16日午前10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1)

湾内の水温は20.1~20.7℃、塩分は16.6~31.8でした。前回調査時(H26.4.18)と比較して、水温は2℃上昇、塩分は0.4~4.7下降していました。

溶存酸素量(表1)

湾内の溶存酸素量は5.8~12.1mg/lで、前回と比べて表層は0.3mg/l増加、1m層は2mg/l減少、底層は1.6mg/l減少していました。

プランクトン(表2・3)

透明度は1.1mでした。

検鏡の結果、珪藻類が殆どでしたが、有害種のヘテロシグマ・アカシオやミリオネクターブルが少数確認されました。

海面の様子や魚等の生物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温・塩分・溶存酸素量

測定水深(m)	今回調査			前回調査(H26.4.18)		
	水温(℃)	塩分	溶存酸素量(mg/l)	水温(℃)	塩分	溶存酸素量(mg/l)
0	20.4	16.6	12.1	18.7	21.3	11.8
1	20.7	25.8	8.2	18.5	29.0	10.2
2	—	—	—	18.1	32.0	7.7
B-1	20.1	31.8	5.8	17.9	32.2	7.4

表2 水深・透明度

	今回	前回
水深(m)	2.9	3.5
透明度(m)	1.1	1.8

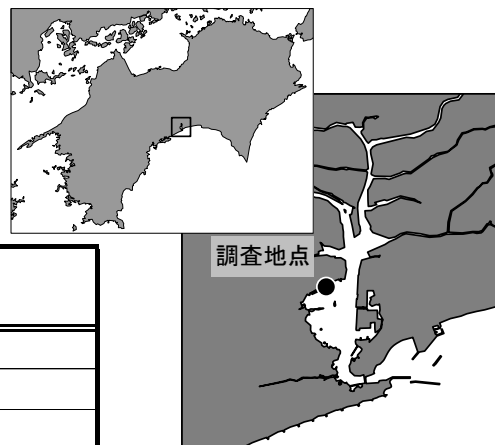


表3 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	ミリオネクターブル	ケイソウ類
0	0	0	33,800
1	20	10	27,400
2	20	0	18,000

漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>